



やらまいか

クラブテーマ : Step Up 豊川宝飯～みんな仲良く～

会長／小田伊佐浩 幹事／石黒貴也 会報委員会／杉浦和人 原田浩史 館山紘介

例会会場／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 ☎0533-86-4101

事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 ☎0533-86-2535 Fax0533-86-8889 Email:hoirc@sala.or.jp

本年度第28回 通算1786回 2024年3月25日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/4 修正出席率
		71名	41名	67.2%	84.1%

ゲスト：米山奨学生 エルデネトラガ・テムーレン君 ビジター：(なし)

国府高校・豊川高校・宝陵高校・御津あおば高校の生徒18名、教諭4名の皆さん

★会長あいさつ

小田伊佐浩会長



まず最初に国際ロータリー2760地区より河本圭史君に委嘱状が届いておりますので、それをお渡ししたいと

思います。

皆様こんにちは。岩手県の大船渡地区の山林火災がようやく鎮火したかと思えば、一昨日から岡山県と愛



媛県で山林火災となっています。山火事の多い時期でもありますが、こんな大きな火事が続くのも珍しいそうです。被害にあった方々へお見舞い申し上げます。専門家によりますと、日本での山林火災の発火原因は、ほぼ人的要因だそうです。タバコのポイ捨てなんていうのはもとより、野焼きとか少しゴミを焼くとかそういったものの火種が何百メートルの先に燃え移って、すぐ広がる乾燥の環境でございます。そういったの過失を防ごうということに、注意

喚起して頂きたいと思います。

今日は各学校の高校生の皆さん、引率の先生方、例会にご参加ありがとうございます。本年度2回目のボランティア活動の発表、例会後の交流会まで長丁場になりますが、よろしく願いいたします。

3月8日の土曜日、田原ロータリークラブ主催でインターシティミーティングが行われました。時習館高校の寺田校長とHONE代表の桜井さんのパネルディスカッションを楽しく拝聴させて頂きました。パソコンの調子が悪くて、画面に映らないって言う状況の中、コーディネーターの小池次年度地区幹事が大活躍いたしまして、名コーディネーターぶりを発揮されていました。体調不良や急用で参加されなかったメンバーに変わりました。若い青谷君、館山君がその方々の分まで出された食事を平らげて頂きまして、心強く思いました。

3月12日から14日に台湾の台中松竹RCに公式訪問させていただきました。6年ぶりの公式訪問で会長はじめ多くのメンバーに歓迎して頂きました。私は、式典で挨拶と記念品交換をさせていただきました。詳しくは4月8日の国際奉仕担当の例会で報告あるかと思っております。私個人的には、石黒幹事と浅野会員の話が楽しいかなと期待しております。

3月16日に第60回豊川市市民展の表彰式に参加させていただきました。豊川宝飯 RC 賞の作品の資料を回覧しますのでご覧ください。

最後に、米山奨学生のテソ君に今月の奨学金をお渡しさせていただきます。テソ君は、豊橋技科大に通う

学生でモンゴル出身です。モンゴル語、日本語、英語、ロシア語が話せます。例会後の交流会にも参加してくれるそうですので、高校生の皆さんには交流を深めて頂ければと思います。



★幹事報告

石黒貴也幹事

例会臨時変更のお知らせ
テニス同好会参加者募集について

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

近藤利行委員長



今日は、豊川高校、国府高校、宝陵高校、御津あおば高校の皆さんをお招きしての例会です。例会では、各学校のボランティア活動の発表をして頂

きます。例会後は交流会を行います。お時間がある方は交流会へのご参加もよろしくお願ひします。

活動発表 国府高等学校



後期生徒会の活動を一言でまとめると「より良い豊川を」になると思います。国府高校は、この豊川の街をより元気にするために主体的にボランティア活動に参加しました。ときには、地域企業の皆さんや行政の皆さんの力を借りて、幅広い範囲での社会貢献を行いました。私たちの学校には約700人の生徒が現在在籍していますが、その中でも450人がボランティアに参加しています。多くの生徒の皆さんが、ボランティアに参加していることを誇りに思っています。行ったボランティアは主に4つあります。

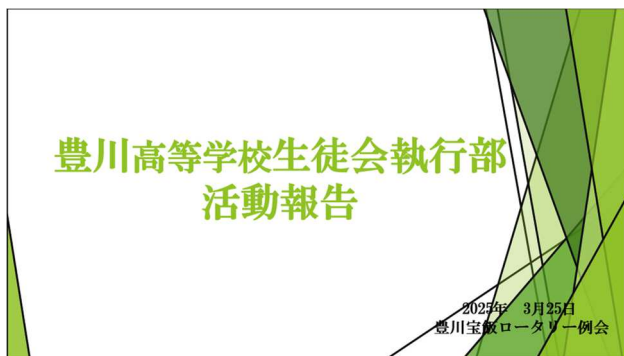
1つ目、国道1号線清掃ボランティア。2つ目、ひょうたん池清掃ボランティア。3つ目、ゆうあいの里祭り運営ボランティア。4つ目、その他シティマラソンなどのボランティアに参加させていただきました。このその他のボランティアでは、トヨカワシティマラソンやボラナビなど生徒が自主的に参加しています。それら一つ一つ詳しく説明していきます。

まずは国道1号線清掃ボランティアです。このボランティアは毎年12月に行っているのですが、今年は岡田建設様に協力していただきました。学校内の清掃だけでなく、学校の近くを走る国道1号線の花壇や歩道の清掃をしました。岡田建設様との清掃活動を通じて国府高校が地域の皆さんに愛され支えられていることを感じました。

2つ目はひょうたん池清掃ボランティアです。国府高校にはひょうたん池と言う池があります。形は正にひょうたんで、白黒写真の時代からあるそうです。そんな私たちの学校のシンボルと言えるこの池の掃除とそこに住む鯉のエサやりを行いました。鯉のエサやりは、週ごとに当番を決め朝放課や昼放課に行いました。冬場は食欲がなく食いつきが良くなかったのですが、3月に入って暖かくなると一気に食いつきが良くなりました。口をパクパクさせながら、餌を食べる鯉は本当に可愛いです。そんな鯉の様子を1年間観察できるこのボランティアは素晴らしいと思います。池の掃除では、生徒5人と先生1人で協力しながら行いました。いざ池に入ってみると思っていたより深くて驚きました。慣れないデッキブラシを使った作業がしんどかったですが、全てきれいになったときの達成感はとても大きかったです。これからもこの池と鯉を大事にしていこうと思います。

次にゆうあいの里運営ボランティアです。このボランティアでは、名前の通り、地域の祭りの運営を国府高校生がサポートしました。右の写真、実際に僕が実際にボランティアする様子なんですけど、このボランティアは、イベントの案内係、賞品係、運営係、受付係等の様々な仕事があって大変でしたが、祭りの運営側に立てる貴重な機会で楽しさだったり、やりがいをとて感じるボランティアでした。

最後にまとめです。国府高校はこのボランティアも含めて、この豊川の街をより良くするために全力で活動に取り組んでいます。そして今ここにいる皆さんと協力して、この豊川の街をより良くしていければ、より一層活発な豊川になると思いますので、今後とも国府高校をよろしくお願ひします。



こんにちは。豊川高等学校生徒会執行部です。今から活動報告を始めます。よろしくお願ひします。これからエコキャップ回収活動、募金活動、地域清掃、供養等清掃の順で発表していきます。

はじめにエコキャップ回収活動について話します。エコキャップとは集めたペットボトルのキャップを会社に送り、ポリオワクチンなどのワクチンに変えてもらいます。毎週月曜日のお昼の時間に各クラスの代議員に生徒会室までエコキャップの箱を持ってきてもらっています。今回のエコキャップは約15袋集めることができました。

次に募金活動について話します。1月13日に豊川稲荷で、3月14日に豊橋駅で募金活動を行いました。1月13日の募金は1億円募金と言って、学費が払えない学生のために年間120,000円の無利子の奨学金の資金を集めるための募金活動です。3月14日の募金は2011年3月11日に起きた東日本大震災の義援金を送るための募金活動です。1月13日は80,051円、3月14日は11,518円集めることができました。どちらの募金も1時間位でたくさん集めることができたので、この活動をしてよかったなと思いました。また募金活動してるときにたくさんの方が頑張っね、応援してるよと声かけかけて下さってとてもうれしかったです。

次に地域清掃について話します。地域清掃とは参加してくれた生徒を3つのグループに分け、普段学生が使っている最寄駅から学校までの通学路や学校近くの公園を日ごろの感謝を込めて清掃する活動です。今期は3月17日に行い、インターアクトクラブ、男子バスケットボール部、Eスポーツ部、空手道部、男子卓球部の他に個人での参加などがあり、たくさんの生徒が参加してくれました。当日は皆積極的になってゴミを集め、ゴミ袋約3袋分を集めることができました。

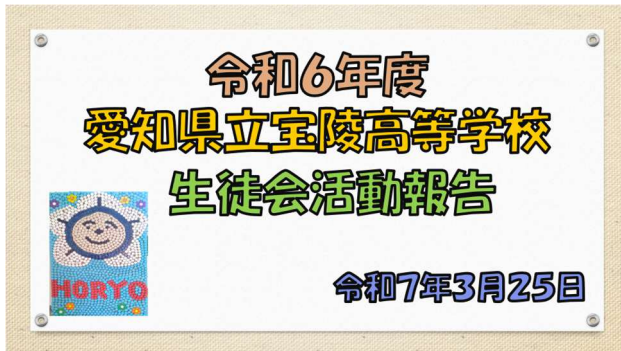
次に供養塔清掃についてです。供養清掃とは、豊川大空襲で亡くなられた方を供養している供養棟を

慰霊の思いを込めて清掃をするという活動です。この供養等ができたきっかけやこの活動を始めと思ひなどを詳しく話していきたいと思ひます。1945年8月7日に豊川海軍工廠がアメリカ軍B 29の大編隊に空襲され、2,724人もの人々が命を落とし、さらに多くの人が負傷してしまいました。私たち豊川高校の先輩6人の他にも国民学校今で言う小学校の生徒さんもこの空襲で命を落としました。この空襲で亡くなられた戦没者の名前やどこに所属していたか、どの出身だったかなど2,544人分がこの供養塔にある石碑に刻まれています。そして戦後この空襲で生き延びた海軍工廠の従業員や遺族が中心となって八七会と言う団体を設立し、戦没者の慰霊、工廠や空襲の記録や語り継ぎを行っていました。供養等の管理も八七会が行い、毎年8月7日には慰霊供養祭が行われていました。しかし戦後から75年が経ち、会員の高齢化によりそれらの維持が難しくなつてしまい、八七会は2020年8月7日をもってやむなく活動終了となつてしまいました。この時私たちの先輩方が戦争の痛みを忘れないために何かできないかと考え話し合ひ八七会の意思を受け継いで供養塔の清掃を私たちへ続けていくことになりました。現在豊川高校では毎月7日の朝に供養塔清掃を行っています。主に生徒会執行部、クラスの代議員や希望した部活動が参加し、石碑を磨いたり、石碑まわりの雑草を抜いたりしています。

私には身内にかつて海軍工廠で働き、空襲で亡くなったため石碑に名前を刻まれている方がいます。それを知った時、最初はどこか他人事だったのが一気に身近な話に感じるようになりました。供養塔清掃をしているときに祖父に聞いていた名前を見つけて、なんとも言えない悲しい気持ちになりました。また、昨年度の8月7日に供養と清掃を行った際には、元八七会の方と対面し、昔の八七会の写真やお話を聞かせてもらえました。元八七会会員のお話を聞くに連れて戦争体験者の方の高齢化が深刻だなど感じました。同時に私たちの世代がこれらのことをどうやって次の世代に伝えていくのか考えなければならぬと感じました。そのため私たち生徒会執行部は、供養清掃を続け、もっと多くの方々に供養等のことを知ってもらい、平和について考えるきっかけになればいいなと考えています。さらに今年は戦後80年の年でもあります。私は豊川高校の生徒会執行部として、そして一豊川市民として、この1年は、今までよりも平和や戦争の悲しみについて考えたいと思ひました。そして先ほど言ったような平和

について考えるきっかけを作る機会を増やしたいと思い、豊川市内にある豊川海軍工廠に関連した場所を巡るといった企画もしたいと考えています。私たち高校生でも、どんな人だとしても、できることが少なくないはずで。皆さんも平和のために知れること、できることを探して、何か行動起こしてみませんか。ご清聴ありがとうございます。

活動発表 宝陵高等学校



令和6年度宝陵高等学校生徒会活動の報告を始めます。後期生徒会の活動は10月に第2回生徒集会を開催しました。レクリエーションを企画し、他学年で交流することで学校全体の連帯感を強めることができました。クリーン活動は雨天中止となりましたが、12月には実施することができました。10月に行われた後期募金活動では、6,003円集めることができました。集まったお金は、社会福祉協議会を通して赤い羽根共同募金に寄付させていただきました。今年度のエコキャップ活動では、11,687個集めることができました。これはワクチン13本分に相当するそうです。今年も継続して実施し、3月末に回収業者へ提出する予定です。清掃美化委員と有志の生徒と一緒に宝陵高校から駅までの通学路を地域の方々への感謝の気持ちを込めて清掃しました。多くの生徒が参加し、たくさんのゴミを集めることができました。挨拶運動では、生徒会執行部が中心となって総務委員とともに活動を行いました。花いっぱい夢いっぱい事業を通して、学校庭園にチューリップを植える活動行いました。生徒会通信にてチューリップの花言葉である「思いやり、博愛」を全校生徒に伝え、活動を通して自然と触れ合い豊かな心が育まれることを期待しています。以上で生徒会活動の報告を終わります。

続いてボランティア活動報告に移ります。私が紹介するボランティア活動は3つあります。1つ目は豊川リレーマラソンです。豊川リレーマラソンの参加者は、人数もさることながら、参加者の熱意がす

ごく高い活動でした。活動内容は、コースの安全管理やゴールしてきた人たちに、水分を渡したり、記念撮影のお手伝いをしました。子供から大人まで一生懸命走っている姿を見て、より一層ボランティア活動に取り組むことができたとともに笑顔で走りきっている人たちを見て元気をもらうことができました。

2つ目は豊川青年団盆踊り大会です。数日に分けて練習を行ったり、家でも練習をし本番を迎えました。当日は、大人の方々と始め小さい子供や学生の方など地域の皆さんが参加されました。途中強い風に見舞われたり不安定な天気でしたが、地域の方々と交流し場を盛り上げ、たくさんの笑顔を見ることができたとともに私も楽しい時間を過ごすことができました。

3つ目に紹介するボランティアは豊川市にある社会福祉法人若竹荘が主催するたけのこ祭りです。当日は晴天に恵まれ、数え切れないほどのたくさんの参加者で賑わっていたお祭りで、豊川保育園の園児の踊りや豊川高校和太鼓部の演奏、抽選大会等の項目が目白押しとなっていました。活動内容としては、おもちゃすくい、のりくわや各イベントのお手伝いなど多岐にわたって行いました。参加された地域の皆さんのおかげで、ボランティア活動への参加意欲がとっても高くなりました。

私が参加したボランティア活動は白虎祭です。白虎祭とは、豊川稲荷から生まれた進化を続ける新しい地域エンターテイメントイベントで、夜店や70以上の屋台、ワークショップが立ち並び大人から子供まで楽しめるイベントです。ボランティア活動の内容は、夜間参拝の謎解き案内や見回りをしたり、商店街連携企画として白虎グルメの販売のお手伝いをしました。

紹介した活動以外にも依頼を受けた場所に年賀状を送るものや、福祉施設のイベントの補助、子供と関わる機会のあるボランティアに参加しました。

私たちは、ボランティア活動を通してやりがいを感じると同時にたくさんの笑顔をもたらしていることに気が付きました。直接関わらないボランティアであったとしても、どうすれば楽しんでもらえるか、喜んでもらえるかなど相手のことを考えているときは時間があっという間に過ぎていきました。相手がいるからこそ成り立つ、持ちつ持たれつ、関係なのであると改めて学び、これらで培った経験を生かし、勉学に励んでいきたいと思いました。

先ほど紹介したボランティア活動の参加の人数

は年々増加しており、今年度は117人とたくさんの方に参加していただきました。来年度もたくさんの方にたくさん参加してもらい、宝陵生はボランティア精神が強いと認知していただけるよう皆で頑張っていきたいです。

本校ではボランティア活動を3年間で10回以上参加すると、ボランティア功労者として表彰をもらえます。私たちはボランティア活動を頑張る1つの目標にしています。それ以外にも幅広い世代の方々に関わりたい、自分を成長させたいなどいろいろありますが、これらのことを意識して、これまで以上にボランティア活動に取り組んでいきたいと思えます。以上で宝陵高等学校の発表終わります。ご清聴ありがとうございました。

活動発表 御津あおば高等学校



只今から御津あおば高校の発表を始めます。よろしくお願ひします。

私たちの活動を大きく3つに分けられています。校内活動、校内ボランティア、そして校外ボランティアです。それぞれの活動について詳しくご紹介させていただきます。

校内活動についてご紹介します。私たち御津あおば高校生徒会は毎週水曜日のお昼時間にラジオMITOと言う校内活動を行っています。この活動は生徒の皆さんに楽しい学校生活を送ってもらうことを目的としています。担当は生徒会のみんなで決めます。放送の内容は、最近の学校での出来事や体調管理の事、さらに恋愛相談や最近の流行りについて話しています。また全校生徒からリクエストされた曲を流し、ランチタイムを楽しく過ごせるように工夫しています。たくさんの方から面白かった、楽しかったと言う感想をいただいています。今後もより多くの生徒の皆さんに楽しんでもらえるようにがんばります。

次に今年度、御津あおば高校で誕生したマスコットキャラクターについてご紹介いたします。御津あおば

高校では、今年度の11月ごろにマスコットキャラクター制作を始めました。制作には約1ヵ月ほどの時間をかけ、全校生徒の皆さんと協力し、たくさんの方の中から厳選して最終決定をしました。その結果選ばれた本校のマスコットキャラクターの名前は“あおびー”です。あおびーには、御津あおば高校のたくさんの特徴や思いが込められています。例えば御津あおば高校のあおばを青い羽根と捉え、青い鳥や自然の中の学校だから頭に葉っぱをつけている。他にも学校が優しいイメージだから丸く可愛く、制服が変わったためネクタイをつけているなどがあります。見た目や名前、あおびーに込められた思いの可愛さから全校生徒の皆さんにも愛されています。

Brushupについて説明します。Brushupは御津あおば高校の新生に配布している、制服、年間行事、購買、部活動、ボランティアなどについて書かれたパンフレットです。このパンフレットは、生徒会役員が毎年作っています。今年は、制服の種類、年間行事予定表、購買の場所、利用方法、各部活の紹介、御津あおばのボランティアMVPについて生徒会役員からのコメントが載っています。また、表紙には御津あおば高校のキャラクターあおびーのイラストが載っています。この1冊で御津あおば高校の魅力が伝わるようにメンバー全員で書きました。私は購買について書きました。1年生の初めに場所が分かりづらかったので、新入生が迷わないようにすること、利用可能時間がわかりやすいようにしました。またいろんな国にルーツがある生徒がいるので、日本語と英語で表記し、全員が読みやすいように意識しました。

続いて学校内で行っているボランティア活動についてご紹介いたします。ペットボトルキャップ集めの活動があります。この活動は、環境保護と社会貢献を目的としています。集められたキャップは、リサイクル業者に送られ、その収益が途上国の子供たちへのワクチン提供に役立てられます。

最後に校外ボランティア活動についてご紹介いたします。御津あおば高校には、ボランティアに対する意思が高い生徒が多く、今年度は依頼があった中で、36のボランティア活動に延べ150名が参加しました。ボランティア活動の内容は、お祭りや各種イベント、障害者施設のサポート、マラソン大会の補助、子供食堂など多岐にわたります。私も豊川マラソンに参加し、受付を担当しました。この活動を通じて少しでもイベントの成功に貢献できることが嬉しく感じました。ランナーたちがゴールを迎える際に見

せる喜びの表情を見てとても満足感を得ることができました。また、外国人の子供たちに日本語を教える教室にもボランティアとして参加しました。彼らに少しでも役立つことができた事は、私にとって大きな誇りです。御津あおば高校の生徒が社会に貢献しようとする姿勢は本校の誇りです。以上で御津あおば高校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

★ボラン・コラボ・穂の国7交流会

例会後に交流会が開かれました。交流会では、2つのグループに分かれてテーマにそったテーブルディスカッションが和やかな雰囲気で行われました。



テーマ

今後どのようなボランティア活動に携わってみたいか？

ディスカッションのまとめ

- ・看護科のボランティア増強や老人福祉施設関係のボランティアをやったら良い
- ・地域清掃のボランティアや他校との関係を増やせる活動ができるとう良い
- ・海のごみ拾いやエコキャップからワクチン加工の工程に係るボランティアをやってみよう
- ・豊川の魅力を地域と協力してできる活動をやってみよう
- ・幅広い世代の人たちと関わるボランティアをやってみよう
- ・自分たちの地域を大切に活動に参加してみよう

★新聞掲載

3月25日例会の様子が地元紙の東愛知新聞と東海日日新聞に掲載されました。

供養塔清掃やマラソン大会支援
高校生ボランティアが報告
豊川宝飯RC例会で4校

豊川宝飯ロータリークラブは25日、例会「高校生ボランティア交流会」を豊川商工会議所で開いた。クラブが支援している豊川市内の6高校のうち、国府、豊川、宝飯、御津あおばの4校が活動内容を発表した。国府は「国道1号の清掃活動」「豊川シテイマラソンの支援」などを、おはは「新入生向けの学校パンフレットづくり」「子ども食堂の支援」などを報告した。豊川の生徒は、供養塔清掃活動を通して、戦争経験者の高齢化を感したという。「今年は戦後80年の節目、これまで以上に戦争の悲しみを伝えたい」と述べた。このあと会場で高校生とクラブ会員が活動について語り合い、親睦を深めた。「竹下真信」

豊川は「エコキャップの回収」「募金活動」「豊川海軍工廠(こうじょう)でできた人たちの供養塔の清掃」などを紹介した。宝飯は「豊川リレーマラソンの支援」「豊川種荷で開かれた白狐祭の手伝い」など、御津あおは、「新入生向けの学校パンフレットづくり」「子ども食堂の支援」などを報告した。

豊川は「エコキャップの回収」「募金活動」「豊川海軍工廠(こうじょう)でできた人たちの供養塔の清掃」などを紹介した。宝飯は「豊川リレーマラソンの支援」「豊川種荷で開かれた白狐祭の手伝い」など、御津あおは、「新入生向けの学校パンフレットづくり」「子ども食堂の支援」などを報告した。

豊川宝飯RC例会
ボランティア活動で意欲
豊川市内4高校が取り組み発表

豊川宝飯ロータリークラブは25日、例会「高校生ボランティア交流会」を豊川商工会議所で開いた。クラブが支援している豊川市内の6高校のうち、国府、豊川、宝飯、御津あおばの4校が活動内容を発表した。国府は「国道1号の清掃活動」「豊川シテイマラソンの支援」などを、おはは「新入生向けの学校パンフレットづくり」「子ども食堂の支援」などを報告した。豊川の生徒は、供養塔清掃活動を通して、戦争経験者の高齢化を感したという。「今年は戦後80年の節目、これまで以上に戦争の悲しみを伝えたい」と述べた。このあと会場で高校生とクラブ会員が活動について語り合い、親睦を深めた。「竹下真信」

ボランティア活動に夢を誇り思つたと話した。宝飯高校は、豊川リレーマラソン、豊川青年会館講堂大会など、校外ボランティアでの体験を通して「ボランティア活動への参加意欲が高まった」と述べた。豊川高校は、募金活動やマラソン大会などの発表、そのうち供養塔清掃について「平和を未来につなげていく活動として継続していきたい」と今後の意欲を述べた。交流会が行われ、活動内容を共有した。(中略)

★ニコニコボックス

- 近藤利行会員 本日の例会を担当します
- 土井昌司会員 娘の結婚と義母葬儀の御礼
- 井指和昭会員 台湾訪問の御礼
- 井澤秀明会員 誕生日を祝って頂き

会報担当：杉浦和人・原田浩史・館山紘介